

2022年度神奈川県石油コンビナート等防災本部訓練（合同図上訓練） の結果について（報告）

1 概要

訓練名称：2022年度神奈川県石油コンビナート等防災本部訓練（合同図上訓練）

日時：2022年11月9日（木）13:30～16:30

場所：神奈川県庁西庁舎 7階統制部室A及びB

参加機関：10機関 計49名

神奈川県くらし安全防災局（消防保安課）、神奈川県警察本部、横浜市（総務局、消防局）、川崎市（総務企画局、消防局等）、第三管区海上保安本部、ENEOS（株）根岸製油所、東亜石油（株）京浜製油所、神奈川・静岡地区広域共同防災協議会

※オブザーバー参加機関なし

2 訓練内容

石油コンビナート等特別防災区域における災害発生後の対応の習得・習熟及び関係各機関同士の連携強化を図るため、関係各機関の職員が一堂に会し、初動対応を中心とした訓練を実施した。

今年度は、予め参加者に訓練シナリオ（横浜・川崎同時発災）を共有し、机上訓練形式で実施した。

<重点訓練項目>

- （1）災害対応の初動対応の把握
- （2）マニュアル類の把握・検証
- （3）権限移譲を見据えた県における災害対応の把握

<被害想定>

- ・2022年11月9日（木）12:00、東京都大田区を震源とするマグニチュード7.3の大規模地震が発生し、関係各機関は速やかに災害対策本部を設置して関係被害情報の収集を開始した。
- ・東亜石油（株）京浜製油所では、LPGタンクからガスが漏えいし、火災となり、爆発の危険性が生じる。
- ・ENEOS（株）根岸製油所では、原油タンクでリム火災が発生し、全面火災へと発展する。また、栈橋配管フランジ部から海上へ原油が漏えいし、風により漏えい範囲が広がる。